『原点回帰』

教頭　河村茂実

「お帰りなさい、よう帰られましたね。」この言葉が学祖河野タカ先生との出会いの始まりでした。「今年はうれしいのよ、孫が二人も教員として帰ってきてくれて。」赴任の挨拶にきた私に優しく語られた。初対面の私にはそれが自分達のこととは全く気がつきませんでした。後に本校の卒業生を母親に持つ、野田先生(旧姓藤村・現教務部長)と私のことを卒業生の子は私の孫だとして「お帰りなさい。」と表現されたのだと理解した。昭和五十三年三月のことでした。

爾来、二十五年余り時は過ぎ往きて、教職員のなかでも生前の河野タカ先生を存知あげるものも少なくなってしまいました。これまでの学園生活を振り返ると様々な思いが甦ってきます。タカ先生から身をもって教えられた率先垂範の教育観、教育の厳しさ、優しさ、時間は短かったけれどタカ先生との二年間は私にとって教師生活の原点であり、将に至宝です。タカ先生の生徒や学園を愛する心・魂に少しでも近づきたい、その一念で今日までなんとかやってきました。お陰様で長年育ててきたソフトボール部も中国地区の強豪の仲間入りを果たし、卒業生の中から国体選手も輩出でき、監督引退の今年、高体連功績賞もいただくこともできました。これも、苦しいとき、つらいとき、いろいろありましたが、いつも「河村先生、教育は継続よ。」とのタカ先生のお言葉を思い出し、乗り切ることができたようです。

若かった新米教師も最近は頭に白いものが目立ち始め、今年度からは教頭職を拝命することになりました。タカ先生ご存命の昭和五十三年四月採用の三名がそれぞれ校長・教頭・教務部長となり、学園をリードすることになったわけです。ご存知の通り、学園を取り巻く環境は少子化などさまざまな問題を抱え、大変な時期であります。この大嵐のなかをいかに船を操るか、現代流のマニュアルも妙薬もありません。しかし、私たちには、タカ先生の教えがあり、思い出があります。タカ先生の魂に学んだ同窓生や諸先輩の人の輪というかけがえのない財産があります。この苦境の時こそ、『原点回帰』、タカ先生の孫と呼ばれた気持ちに恥じぬように頑張る所存であります。

最後になりましたが、桜山同窓会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

健康こそ一番

佐武弘達

平成十五年度同窓会総会を祝し、お喜び申し上げます。

同窓生の一層の友愛と親睦を図られることを、節に祈念いたします。

私は、三十三年間の長きに亘りお世話になった付属高校を退職して二年余り、身体を崩しまして、目下病院通いと養生の毎日であります。

今となっては健康こそが一番と思えるようになってきました。

ある話の一節に、このようなことが書かれていました。

「耳が聞こえて目が見えて、鼻が匂えて、ものが言えて、働ける手足があって五体満足、健康こそ幸せの源なのに、あたり前のことを喜ばず、とかく我が身を粗末にしがちなもの、不自由な身体、不幸な人に比べれば何と贅沢な罰当たりでありましょうか。上を見ては限りなく、下見て慎む心を起こせ。

どんな人でもゼロから再出発した気持ちでいれば、私ほど幸せ者はないという喜びが湧いてくる」

このことをモットーに日々精進しようと思っている。

体育大へ進学して

西木(旧姓司)睦美
(昭和五十七年音楽科卒)

私は音楽科へ入学しましたが、三年秋に声帯の不調により音大受験を断念し、体育大へと進路を変更しました。音楽科の授業と体育大受験の為の課題をこなす事は、かなり厳しいものがありましたが、佐伯先生の熱心な指導と周囲の暖かい励ましにより、無事、日本女子体育大学に合格する事ができました。

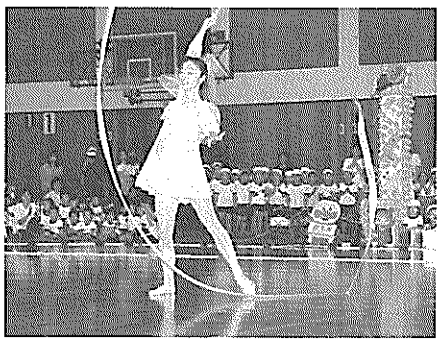
大学では、新体操部に入部。バレエ経験と運動能力が高く評価され、選手として、インカレ、全日本、世界選手権最終予選等に出場し、好成績を修めました。四年在学中は、教育実習で高校の教壇に立ち、良い経験をさせて頂きました。

卒業後は東京に残り、スポーツクラブに勤務し、エアロビクス、ウエイトトレーニング、ジャズダンス、バレエを学びました。

現在は、北九州を主に、小中学生に新体操、幼・保育園で体操教室、その他、高齢者の体操指導を行なっています。これら体育は、音楽と密接な関係にあります。音楽は、人の心を動かす力を持っています。音楽によって動かされた素直な心の子ども達から沸き出す様々な動き、そこにナレーション、演出構成が加わった時、それはすばらしい感動を与えてくれます。高校で学んだ音楽への深い理解と知識は、現在の仕事で大変役立っています。

私は、日頃生で新体操の演技を見る事のない子ども達に、多少の演出を加え、演技披露をします。子ども達は、身近にある道具の予想外な操作に、目を丸くして驚き、喜んでくれます。その笑顔見たさに、ウエイト調整、自主トレは今だ欠かしません。

家庭では、息子二人にピアノ、娘には新体操を教えています。日々の充実した生活は、高校での諸先生方との出会い、教育があったからこそと、深く感謝しています。有難うございます。



下関短期大学に入学して

岡﨑知子
(平成十五年生活教養科卒)

下関短期大学に入学して約二ヶ月近くが過ぎました。高等学校に比べて、授業時間も九十分と長く、しかも教室を授業毎に移動するので大変でしたが、今は学校にもほとんど慣れました。

生活教養科を卒業後保育学科に進学したので勉強は大変ですが、幼稚園の実習やその他の実習もとても楽しんで取り組んでいます。これからどんな経験が出来るか楽しみです。そして、保育士免許取得を目指して二年間頑張っていきたいと思います。途中で逃げ出したくなっても、三年間の高校生活での様々な経験や思い出を力に、頑張っていけると確信しています。

高校生活は、卒業後の将来の為の大切なステップだと思います。在校生の皆さんも、この三年間を是非有意義に過ごして欲しいと思います。

卒業生総数

平成15年度在校生　289名

●河野高等技芸院

本科	116名
研究科	22名
専攻科	15名
計	153名

●河野高等女学院

本科	287名
研究科	46名
計	333名

●下関河野高等家政女学校

本科	704名
研究科	6名
計	710名

●中学校計　627名

●高等学校

別科	117名
専攻科	13名
商業科	400名

家政科	1,368名
普通科	2,576名
生活教養科	359名
音楽科	854名
計	5,687名

卒業生総数
(平成15年3月卒まで)
計 7,510名

編集後記

同窓会を機会に是非卒業生の皆様にも恩師を囲んで青春の一コマを懐かしみ明日への活力として頂きたいと思います。

なお、編集にあたり多くの方々のご協力有難うございました。

最後に、母校の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

平成十五年
桜山同窓会実行委員一同

有限会社 オウミ
OUMI
GoodFoods Create Company!
本社・食品事業部　〒750-0049 山口県下関市栄町10-10-705 TEL0832-33-7439
P's-BAR　〒750-0018 山口県下関市豊前田町2-7-10 B-1 TEL0832-24-3503
ナポレオンのやつあたり(豆富の創作料理)
〒750-0016 山口県下関市細江町1-7-12

一家の健康は肉食から
肉の殿堂 しずかこんす
株式会社 静公司
本社 〒751-0816 山口県下関市椋野町3丁目13-18
TEL 0832-31-2941 FAX 0832-22-3711
流通センター 〒751-0816 山口県下関市椋野町3丁目13-18
TEL 0832-31-4734 FAX 0832-32-8304
総本店 〒751-0018 山口県下関市豊前田町2丁目6-23
TEL 0832-31-9702 FAX 0832-31-9702

東急観光は
旅を創造する
プロフェッショナルです
豊かな感動のステージへ
東急観光
下関支店 下関市細江町1-1-11
TEL (0832) 31-3611

Judo21 MUSIC SHOP
株式会社 下関十字堂楽器店
本店 〒750-0007 下関市赤間町3-31 TEL(0832)23-2311(代) FAX(0832)32-5249
宇部店 〒755-0043 宇部市相生町5-12 TEL(0836)21-5869 FAX(0836)33-3630

グリーン、コート、フィールド、マウント・・・・
みんな"感動"のステージだ
・・・・
熱血スポーツ応援団!
オオバヤシスポーツ
Mizuno ミズノスポーツ品販売店
ウベ店 宇部市新町9番30号 Tel 0836-21-0884 Fax 0836-22-7085
シモノセキ店 下関市赤間町1番4号 Tel 0832-31-8800 Fax 0832-31-1118
オノダ店 小野田市中川5丁目7番11号(スポーツセンター前) Tel 0836-84-0055 Fax 0836-84-6568

紳士服&カジュアル&制服・学生服
コトウ
本店 下関市細江町1丁目7-8(光明寺下) TEL(0832)31-1200・FAX(0832)31-0904
KOTO 下関駅前シーモール南2番街(セントラルコート前) TEL(0832)31-1100(代)・FAX(0832)31-5713
ARKS 下関駅前シーモール南2番街(セントラルコート前) TEL(0832)31-1301(代)・FAX(0832)31-1300

あなたとまちとフェイス to フェイス
Face to Face
この街といきていく
下関信用金庫
下関市細江町1丁目1番8号
TEL0832-23-3461・FAX0832-23-3469
http://www.shimoshin.co.jp/

桜山だより

河野高等技芸院　下関短期大学付属高等学校
河野高等女学院　下関女子短期大学付属高等学校
下関河野高等家政女学校　下関河野学園中学校
下関河野学園高等学校　下関女子短期大学付属中学校

校訓

正　自覚
温　感謝
雅

発行人
桜山同窓会事務局
下関桜山町１番１号
TEL 0832-23-0338
FAX 0832-31-1681
印刷
泉菊印刷株式会社
下関市長府扇町８番48号
TEL 0832-48-3553
FAX 0832-48-0039

初心わすれるべからず

同窓会会長　松尾　ヨシ子

近年異常気象など、地球温暖化に伴う影響が四季の変化にも現れ、桜の開花時期が早まり、五月晴れの日も少なく肌寒い日が続いたと思えば梅雨と、四季の変わり目が分からないうちに夏、同窓会の皆様にはお変わりもなく、ご健勝のこととお喜び申します。

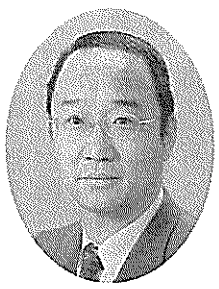
一年のご無沙汰と怠慢をお許しください。

今年は始めての男性の入会がありましたし、長年に亙り同窓会にご尽力戴いた、理事長西村清先生が、ご高齢のため退職されました。同窓会にとりましては残念ですが、今後のご健勝をお祈りし、感謝の気持ちに変えさせて戴きます。学園も若返り新理事長には、前年度までの同窓会顧問の松井忠夫先生が、また、新顧問には伊藤清之校長が就任されました。私たち同窓会も団結を新たに、できる限りの応援をしたいものです。母校あっての同窓会です。ご出席の皆さん、時には息抜きも必要です。里に帰ったつもりで悩みや愚痴など話しあってみては如何ですか。そんな同窓会でありたいと思います。

「初心忘れるべからず」と言う言葉を思い出してください。人生には何度でもその時々の初心があると本で読んだ記憶があります。

私も「老後の初心」として謙虚に人の意見を聞き、見聞を広める努力をしたいと思っています。

新生付属高校を目指して



校長　伊藤　清之

今年四月、松井忠夫前校長先生から、付属高等学校のバトンを受けました伊藤でございます。三月まで八年間、岡藤校長先生、松井校長先生の下で、教頭として付属高校の為に頑張ってまいりました。このたび、この伝統ある付属高校の六代目校長として就任するにあたりまして、同窓生の皆様にご挨拶させていただきます。

私は、昭和五十三年四月本校に採用されました。その時にはまだ、本学園の創立者である河野タカ先生が御存命で、ご慈愛に満ちたご指導を直接受けることができました。二年間という短い間でしたが、創立者と一緒に仕事ができたということは私の教員生活にとって宝といっていいと思います。これからこの付属高校をどのように盛り立てていこうかとする時に、タカ先生との若き日々が私に勇気を与えてくれているような、そんな気がしてなりません。

ところで、本年度は残念なことに、新入生が百名を割り九十一名となりました。教職員一丸となり生徒募集をやってまいりましたが、皆様もご存知のように、下関市内の豊浦高校、下関南高校、そして長府高校と、この三校が男女共学となりました。このことが、昨年度の本校の生徒募集にどれだけの影響を及ぼしたかははっきりとはわかりませんが、何らかの影響があったのは事実だと思います。これを踏まえて、来年度は是非百名の大台を確保できるように全力で頑張るつもりでおります。是非、松尾会長をはじめ同窓生の皆様の御支援と御協力をお願いいたしたいと存じます。

最後に、昨年度末の異動で、本学園西村理事長の退任を受け、松井前校長が理事長に就任されましたことをご報告申し上げご挨拶といたします。今後とも宜しくお願いいたします。

理事長就任にあたって

理事長　松井　忠夫

四月一日付で理事長に就任しました松井でございます。二十九年の永きにわたり敏腕を振われた前西村理事長ほどの才覚・識見もありませんし、もとより浅学非才の身でありますが、学園を思う気持ちは決して引けを取るものではないと自負しております。

今、学園をとりまく状況は大変きびしいものがあります。まさに難題山積の状況です。なかでも最大の難題は、学生、生徒、園児をいかにして増やすか。そのための寮をどうするか。ペイオフ対策、第二幼稚園の建設、学園としてのまとまり等々。

これ等を解決するためには教職員一人ひとりが危機意識をもって、所属長を中心に頑張ってもらう以外ありません。所属長がリーダーシップを発揮しやすい環境をつくることが理事長の責任であり、その結果として全教職員が楽しく働ける職場になると思う。所属長達と十分連携をとり、連絡を密にしながら校内理事会を中心に集団指導体制を確立し、スピーディーに計画、実行、評価をして参りたいと考えておりますので同窓会の会員の皆様方には今迄より以上の物心両面にわたるご支援とご協力を心からお願いして、校長在職中の御礼と就任の挨拶と致します。

平成15年度 卒業同窓会入会式 委嘱状授与

普通科三年一組
山田　加奈
園田　廣子
酒井　美

普通科三年二組
小関　あゆみ
原田　美恵
宮崎　千加子
中田　裕子

生活教養科三年
脇坂　麻里子
本久　圭子
重田　奈穂
隅　祐美子
岡崎　知子

音楽科三年
林　麻美
太田　由香
松山　由香利

お疲れさまでした

退任者

〈常勤〉
西村　清　先生（理事長）
松井　忠夫先生（校長）
井上　功一先生（国語）
小川　文則先生（社会）

〈非常勤〉
有田　助次先生（数学）
岩本　澄子先生（箏曲）
來嶋　玲子先生（茶道）
木戸　純子先生（音楽）
高山　ひとみ先生（音楽）
田村　栄子先生（家庭）
正木　裕子先生（英語）
松田　幸子先生（音楽）
戸成　敦子先生（音楽）
河村　茂実先生（教頭）

〈非常勤〉
岡村　昭江先生（茶道）
小川　文則先生（社会）
石井　富可志先生（社会）
片山　隆剛先生（総合）
二歩　伸匡先生（理科）
平尾　美鈴先生（箏曲）

お世話になります

（異動・新任紹介）

〈常勤〉
松井　忠夫先生（理事長）
伊藤　清之先生（校長）

結婚おめでとう

戸成（松本）敦子
（平成二年音楽科卒業）

ご冥福をお祈りします

物故者（恩師）

昭和45年4月7日～昭和62年3月31日勤務
安武　保一先生（音楽）
平成14年12月2日亡

昭和52年4月1日～昭和62年3月31日勤務
村上　茂治先生（事務局）
平成14年3月16日亡

（同窓生）

福田　フジ子　昭和4年本科卒　昭和61年亡
古川（栗山）マツヱ　昭和7年本科卒　平成6年12月14日亡
石橋（石川）敏子　昭和13年本科卒　平成15年4月17日亡
林（浜田）シゲ子　昭和14年本科卒　平成5年2月18日亡
本藤（弘中）美都子　昭和14年本科卒　平成2年3月28日亡
若本（空）初枝　昭和15年本科卒　平成3年亡
佐野（山本）房子　昭和19年本科卒　平成11年3月25日亡
中野　静子　昭和20年本科卒　平成11年2月5日亡
奥田（町田）サナヱ　昭和21年本科卒　平成14年4月27日亡
籔田（川村）艶子　昭和21年本科卒　平成7年亡
岩崎（藤田）トシ子　昭和23年本科卒
上鍛治（森高）幸子　昭和24年別科一年課程卒　平成14年1月27日亡
萱島（長木）貞子　昭和26年家庭科卒　平成11年9月23日亡
西村（松林）恵子　昭和30年家庭科卒　平成11年1月亡
中場（大賀）雅子　昭和33年家庭科卒　平成14年3月30日亡
西郷（西郷）純子　昭和35年家庭科卒　平成12年亡
中村（上野）昭子　昭和35年家庭科卒　平成14年8月8日亡
豊永（石原）喜久江　昭和41年家庭科卒　平成14年6月25日亡
向井　みゆき　昭和51年普通科卒　平成3年2月亡
奥本　澄子　平成元年家政科卒　平成五年亡